

2024

5.8 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

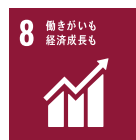
登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_NEIwou54TDK7Ox1bB6jXow

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

ジェンダー平等を達成するための ライドシェアとソーシャルビジネス

司会：キム シューマツハ 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)

5 ジェンダー平等を
実現しよう8 働きがいも
経済成長も11 住み続けられる
まちづくりを

Key Words

コミュニティモビリティ

交通

ジェンダー平等

コミュニティライドシェア

ソーシャル・ビジネス

ヌレン アベディン 学術研究員

システム情報科学研究院 アジア・オセアニア研究教育機構



ヌレン・アベディン先生は九州大学システム情報科学研究院 (ISEE) で交通学を専門とする研究者であり、アジア・オセアニア研究教育機構でも学術研究員として働いています。同機関から 2021 年に情報科学の博士号を取得した後、様々なセクターにわたる研究に積極的に取り組んでいます。彼女はバングラデシュ出身で、2008 年に留学のために日本にきました。2012 年、立命館アジア太平洋大学の国際経営学部を卒業し、日本の大手小売会社イオン九州株式会社に働きました。2016 年に九州大学の大学院システム情報科学研究院に入学し、ジェンダーと交通に関する研究を行い、2021 年に ISEE から博士号を取得しました。九州大学のユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センターで学術研究員としても働きました。彼女の主な焦点は、コミュニティの移動性のダイナミクスと交通の複雑さにあります。さらに、彼女の研究はデジタルヘルスケア、ソーシャルアントレプレナーシップ、インパクトの測定と管理の方法論にまで及んでいます。

交通は、国の基本的なインフラとコミュニティの計画の中心に位置しています。それがより細心で目的に沿って設計されているほど、コミュニティと国の回復力は高まります。それにもかかわらず、この重要な要素は開発途上国で著しく不足しています。これらの地域では、特に女性や未成年者を対象としたコミュニティの移動性と交通の問題が長らく無視され続けてきました。安全で信頼性のある交通システムの欠如は、女性の教育機会、仕事の維持、そして人生の脆弱な時期におけるキャリアアップへの影響を悪化させます。本セミナーでは開発途上国のコミュニティでの現状、根底にある問題、課題、および技術を通じた解決策の開発について深く分析します。また、すべての人にとって交通の安全性とアクセシビリティを高めることを目指し、持続可能な開発目標の番号 5、8、11 の達成に寄与し、開発途上国における女性の移動性と全体的なウェルビーイングを向上させることについても言及します。